

溶解再沈法による高分子材料の添加剤評価

LC/MS・LC/MS/MSによる成分の定性

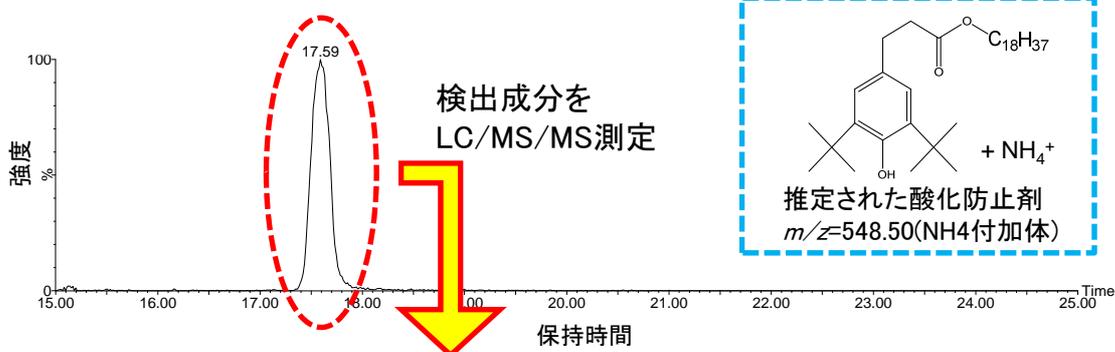
測定法 : LC/MS
 製品分野 : 製造装置・部品・日用品
 分析目的 : 組成評価・同定・製品調査

概要

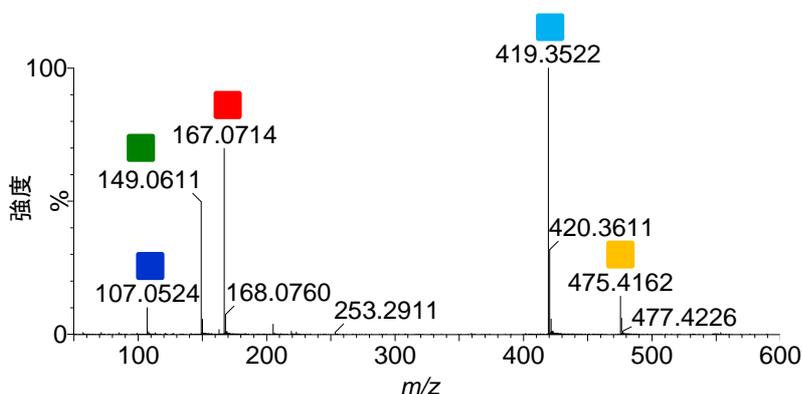
樹脂製品などの高分子材料に使われる添加剤の分析を行う際は、高分子材料と添加剤の分離が必要となります。市販の樹脂製品を溶媒に溶かした後、ポリマー成分を沈殿させることにより添加剤成分の抽出を行う「溶解再沈法」で前処理した試料を用いて分析を行った事例をご紹介します。
 LC/MS分析の結果多く含まれていた成分 ($m/z=548.50$) を LC/MS/MS 分析することにより、フェノール系の酸化防止剤の一種であることが推定されました。

データ

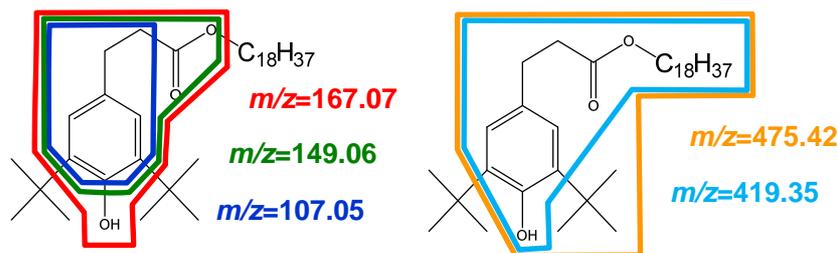
■ $m/z=548.50$ の選択イオンクロマトグラム



■ $m/z=548.50$ の MSMS スペクトル



■ 推定されるフラグメントイオン



分析サービスで、あなたの研究開発を強力サポート！